

## 米国 I S M製造業景気指数 (12年12月)

発表日：2013年1月2日 (水)

～製造業の拡大を示す水準を回復もモメンタムは弱い～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治  
03-5221-5001

### I S M製造業景気指数 は50.7と前月比1.2% ポイント上昇

12月のI S M製造業景気指数は、50.7と前月比1.2%ポイント上昇した(市場予想中央値50.5、当社予想51.5)。また、拡大縮小の分岐点である50を上回り、製造業部門が拡大したことを示した。「財政の崖」など米経済政策への先行き不透明感が残存していたものの、ブラックフライデーの売上が良好だったことや住宅部門の回復傾向等により、前月から拡大した。このような需要拡大のもとで、在庫不足を受けた生産の拡大によって、雇用が増加し、全体を押し上げた。総合指数への構成項目別の寄与度では、在庫(前月比▲0.4%ポイント)、生産(前月比▲0.2%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、新規受注(前月比0.0%ポイント)が変わらずとなったほか、入荷遅延(前月比+0.9%ポイント)、雇用(前月比+0.9%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+1.2%ポイント上昇した。

以上のように、I S M製造業景気指数は2ヵ月ぶりに50を上回ったものの水準が低く、製造業の拡大モメンタムは弱い。

### I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/01	54.1	57.6	55.7	54.3	49.5	53.6	52.5	55.5	55.0	52.5
12/02	52.4	54.9	55.3	53.2	49.5	49.0	52.0	61.5	59.5	54.0
12/03	53.4	54.5	58.3	56.1	50.0	48.0	52.5	61.0	54.0	53.5
12/04	54.8	58.2	61.0	57.3	48.5	49.2	49.5	61.0	59.0	53.5
12/05	53.5	60.1	55.6	56.9	46.0	48.7	47.0	47.5	53.5	53.5
12/06	49.7	47.8	51.0	56.6	44.0	48.9	44.5	37.0	47.5	53.5
12/07	49.8	48.0	51.3	52.0	49.0	48.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	49.6	47.1	47.2	51.6	53.0	49.3	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.5	52.3	49.5	54.7	50.5	50.3	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	54.2	52.4	52.1	50.0	49.6	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.5	50.3	53.7	48.4	45.0	50.3	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.7	50.3	52.6	52.7	43.0	54.7	48.5	55.5	51.5	51.5

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

### 拡大した業種は7業種 にとどまっている

活動の拡大した業種数は、全18業種中7業種(前月6業種)にとどまっている。拡大した業種は、石油・石炭、紙製品、家具・同関連製品、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、一次金属、木材製品。一方、縮小した業種は9業種(前月11業種)に減少した。

新規受注の拡大した業種数は5業種(前月7業種)に減少した。新規受注で拡大した5業種(10業種が縮小)は、アパレル・皮革製品、一次金属、家具・同関連製品、紙製

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

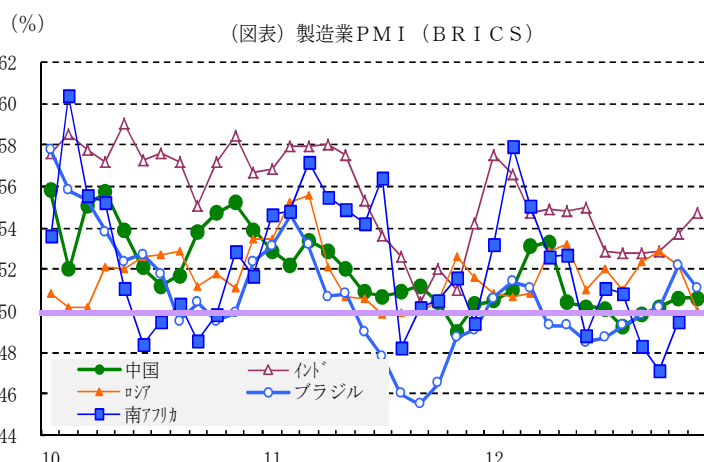
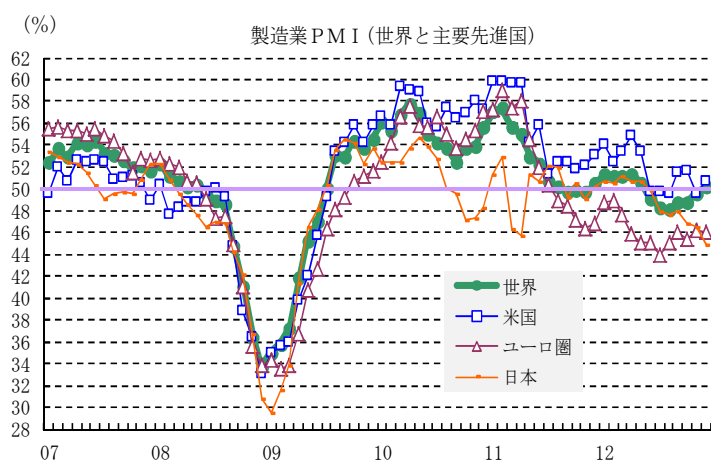
品、コンピューター・電子機器。

生産の拡大した業種数は5業種（前月8業種）に減少した。生産で拡大した5業種（7業種が縮小）は、家具・同関連製品、石油・石炭、紙製品、一次金属、コンピューター・電子機器。

（注）下線は拡大を続けた業種

### 12月の世界製造業PMIは上昇し、7カ月ぶりに50を上回った

12月の世界製造業PMIは50.2（前月49.6）と前月から上昇し、7ヵ月ぶりに50を上回った。在庫調整の進展によって、グローバルな製造業部門の調整が終了した。50を下回った国は、日本、ユーロ圏、スウェーデン、豪州、ポーランド、ハンガリー、ベトナムなど。一方、50を上回った国は、米国、中国（国有企業中心）、中国（中小企業中心）、英国、アイルランド、デンマーク、ノルウェー、韓国、台湾、インドネシア、インド、ロシア、ブラジル、トルコなど。

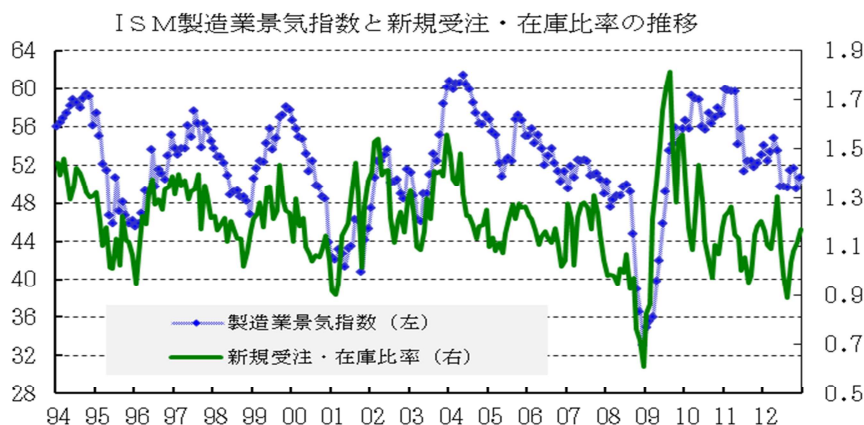


（出所）ISM, Markit Economics

（出所）Markit

### ISM製造業景気指数は緩やかな拡大を示す水準を維持する見込み

今後に関しては、世界経済減速や強い景気の先行き不透明感の影響を受けるものの、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、緩やかながらも持続する米国内需要の成長などに下支えされよう。また、トレンドの変化に先行する新規受注・在庫比率が上昇しており、ISM製造業景気指数は製造業部門の拡大を示す水準を維持すると予想される。



（出所）ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**前年比で輸出が減少する可能性**

輸出受注D Iは、12月に51.5と前月比4.5%ポイント上昇し、7か月ぶりに50を上回った。世界PMIも50を上回るなど、世界的な製造業の在庫調整の進展により、持ち直しの動きが示された。ただし、6か月間50を下回っていたことから、米国の輸出が前年比ベースでは減少に転じる可能性が高い。オバマ政権による5年で輸出倍増計画の達成に黄色信号が点灯している。

**各国の米国向け輸出は加速する可能性**

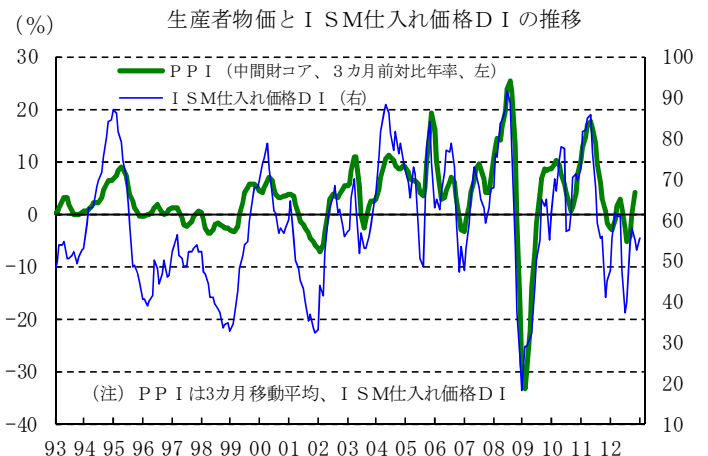
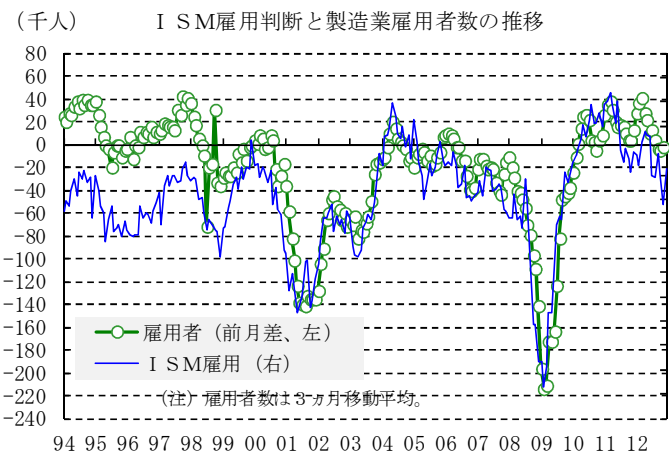
輸入D Iは、12月に51.5と50を上回ったうえ、前月比3.5%ポイント上昇した。また、新規受注D Iが50.3と50を上回っていることから、日本など先進国のほか、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースは加速する可能性が高い。

**雇用D Iは52.7と製造業雇用の増加を示唆**

雇用D Iは、12月に52.7と前月比4.3%ポイント上昇しており、12月の製造業部門雇用者数の増加を示している。ただし、米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

**仕入価格D Iは55.5と上昇したものの、川中でのインフレ圧力は弱いまま**

仕入価格D Iは、12月に55.5と前月比3.0%ポイント上昇したが、水準が低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。